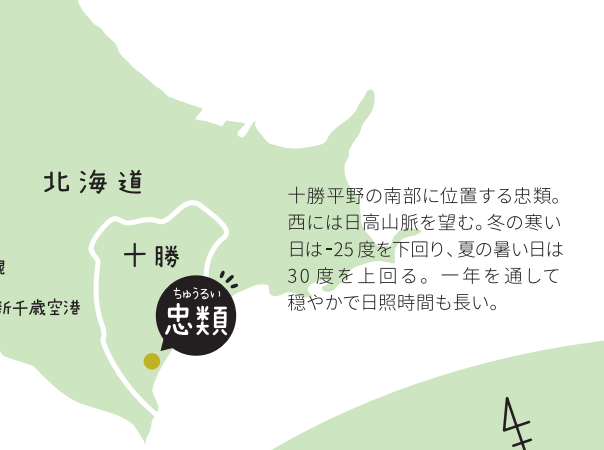


北海道十勝・幕別町忠類

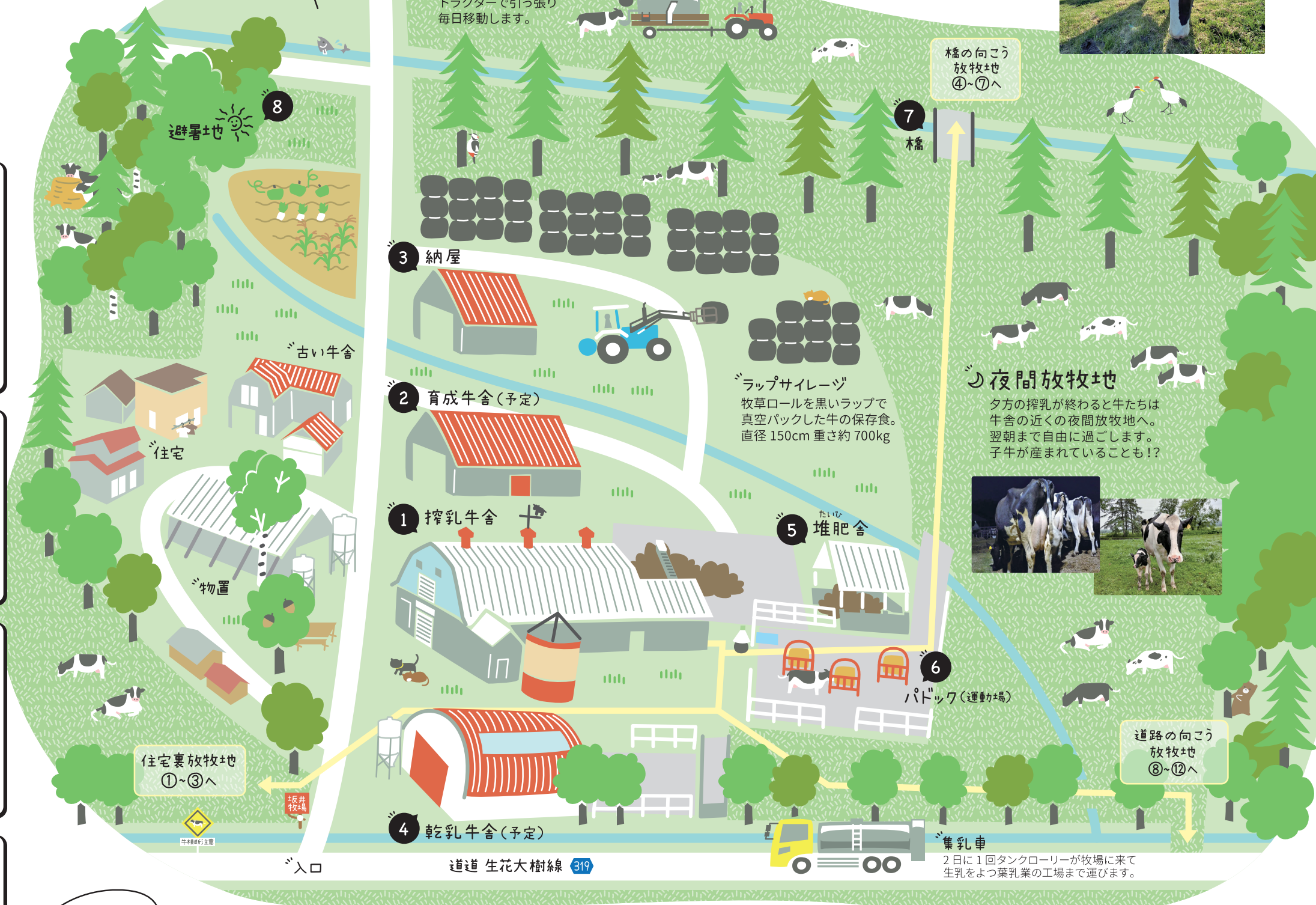
坂井牧場 案内

十勝忠類の地で約90年。人と自然が共に歩み、築いてきた坂井牧場の風景。牛はもちろん、四季折々の草花や野鳥、野生動物が豊かな表情を見せてくれます。どうぞゆっくり、この地図を片手に牧場内の散策をお楽しみください。

- 所在地：北海道中川郡幕別町忠類元忠類 141-8
- 飼養頭数：搾乳牛40頭 ■ 耕地面積：43.14ha ■ 飼養形態：放牧/つなぎ牛舎
- 平均産次数：3.2産 ■ 年間出荷乳量：300t ■ 1頭あたり年間乳量：7800kg
- 非遺伝子組み換え飼料 (NON-GMO) 給与 (2023年9月30日現在)



十勝平野の南部に位置する忠類。西には日高山脈を望む。冬の寒い日は-25度を下回り、夏の暑い日は30度を上回る。一年を通して穏やかで日照時間も長い。



☀️ 放牧地

牧場のまわりには、搾乳牛の放牧地が全部で12区画あります。満腹になるまで草を食べたら、明日は次の区画へ。日替わりで移動して12日間かけて一周します。朝の搾乳が終わると、牛たちは新鮮な草の中へと駆け出していきます。

北海道でも放牧は珍しい？



のびのびとした放牧のイメージがある北海道ですが、放牧を実施している牧場は全体の1割程度。少数派なのです。おひさまの光を体いっぱい浴びて、草食動物である牛本来の豊かな表情を見せてくれます。

1 搾乳牛舎



搾った生乳は牛舎内の配管を流れて生乳処理室のタンクへ入ります。4℃以下で保管され衛生管理されます。

産まれた子牛の哺育スペースも併設されています。体が小さな子牛は病気になりやすいため環境整備が大切です。

2 育成牛舎(予定)

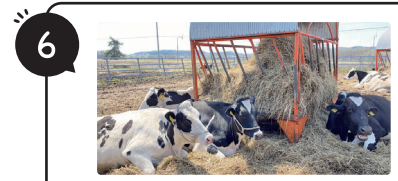
今は倉庫として使用している小屋を育成牛舎に改築予定。風通しの良い環境を計画中。



ロールの仕込み納屋 牧草ロールのラップを開封し牛たちに与える準備をします。いわば牧場の厨房です。

4 乾乳牛舎(予定)

今は機械庫として使用しているD型ハウスを産休の牛用牛舎に改築予定。分娩室も完備。



パドック(運動場) 搾乳牛舎のすぐ外に位置し、牧草ロールが置いてあります。冬季も昼はここで過ごします。

5 堆肥舎

牛舎から排出された牛の糞尿を発酵分解させ堆肥化。畑に還元し、養分が循環します。

7 放牧地への一本橋

牧場内を流れる用水路に橋がかかっています。牛たちは一列になり駆け足で渡っていきます。



木陰の避暑地 牛は強い日差しが大の苦手。夏の暑さ対策として雑木林を開放しました。大好評です！

坂井牧場の一年

